

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和5年6月23日（金）

1. 基本事項

施策		地域コミュニティの推進		期間	令和5年～令和9年	施策担当部課名	協働推進部 自治振興課
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち	目的・対象			自治会が地域コミュニティづくりの核となり、それに関心を持つ住民が増えることにより、その地域独自のコミュニティが生まれてくることから、心の通い合うコミュニティづくりに向けて地域住民が一体となった活動が行えるよう、コミュニティづくりの支援をしていく。
	中項目	2	市民の絆が深まるまちづくり				
	小項目	1	地域コミュニティの推進				
	主要プロジェクト						
重要度・満足度	重要度が低い、満足度も低い。			施策推進のための主な取組			転入時による自治会紹介 地域の声を聞くシステムづくり 地域情報の共有 コミュニティ活動への参加支援 自治会館などの整備支援
施策を取り巻く社会状況等	自治会での地域活動への参加が少なく、住民相互の交流が希薄化しており、自治会への加入率も低下していることから、自治会を中心とした地域コミュニティの見直しが必要である。						

2. 評価指標

上段は目標値（令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期基本計画に基づく目標値）、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
成果指標	地域活動（自治会など）へ参加している市民の割合	%	44.00	51.00	51.50	52.00	52.50	53.00
	深谷市民まちづくりアンケート		43.10					
	自治会に加入している世帯の数	世帯	-	42,575.00	42,575.00	42,575.00	42,575.00	42,575.00
			42,461.00					
	自治会に加入している世帯の割合	%	73.60	-	-	-	-	-
	自治会加入世帯／市内世帯数		69.50	-	-	-	-	-

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>地域活動へ参加している市民の割合については、コロナ禍以降、多くの取組が活動自粛や縮小のため、大きく減少している。また、自治会に加入している世帯の割合は、世帯数の増加が続いているなかで、自治会加入世帯数がわずかに減少しているため、昨年度に引き続き減少している。地域コミュニティ活動の核である自治会は、市政発展のための市の大切なパートナーであるため、引き続き支援を行っていく。</p>				
			評価者	自治振興課長 石川 章一

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
<input type="checkbox"/> 既存事業の拡充	分譲地等の開発許可申請や事前協議の際、開発業者や住宅メーカーに対して、自治会の加入促進について協力を求める。また、転入者に対して、加入促進チラシの配布を行うことや自治会連合会HPでの情報発信の強化を行っていく。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

<p>コロナ禍においては、自治会活動も自粛や縮小を余儀なくされた。「自治会の在り方」や「新たな自治会活動」について、各自治会が知恵を絞って検討しており、自治会の求める支援の形を継続的に研究していく。</p>	
所属長	協働推進部長 岡田 真